

専門的がん疼痛治療WebコンサルテーションシステムChallenge-CanPainについて

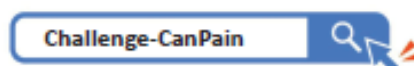
地域連携基盤：医療者が専門的がん疼痛治療の適応など相談するためのプラットフォーム



利用可能者：医師

Home Page : <https://challenge-canpain.net>

上記ホームページは開設済みです。
システム利用申請をしていただけたら
アカウント発行がされて利用できます。

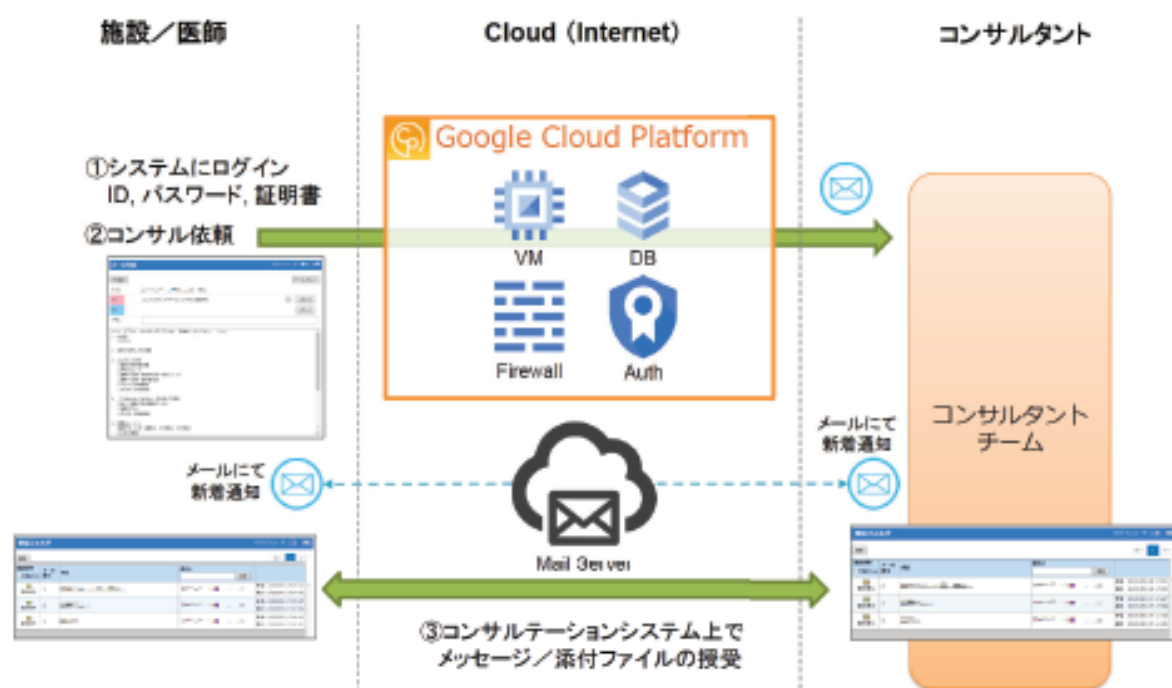


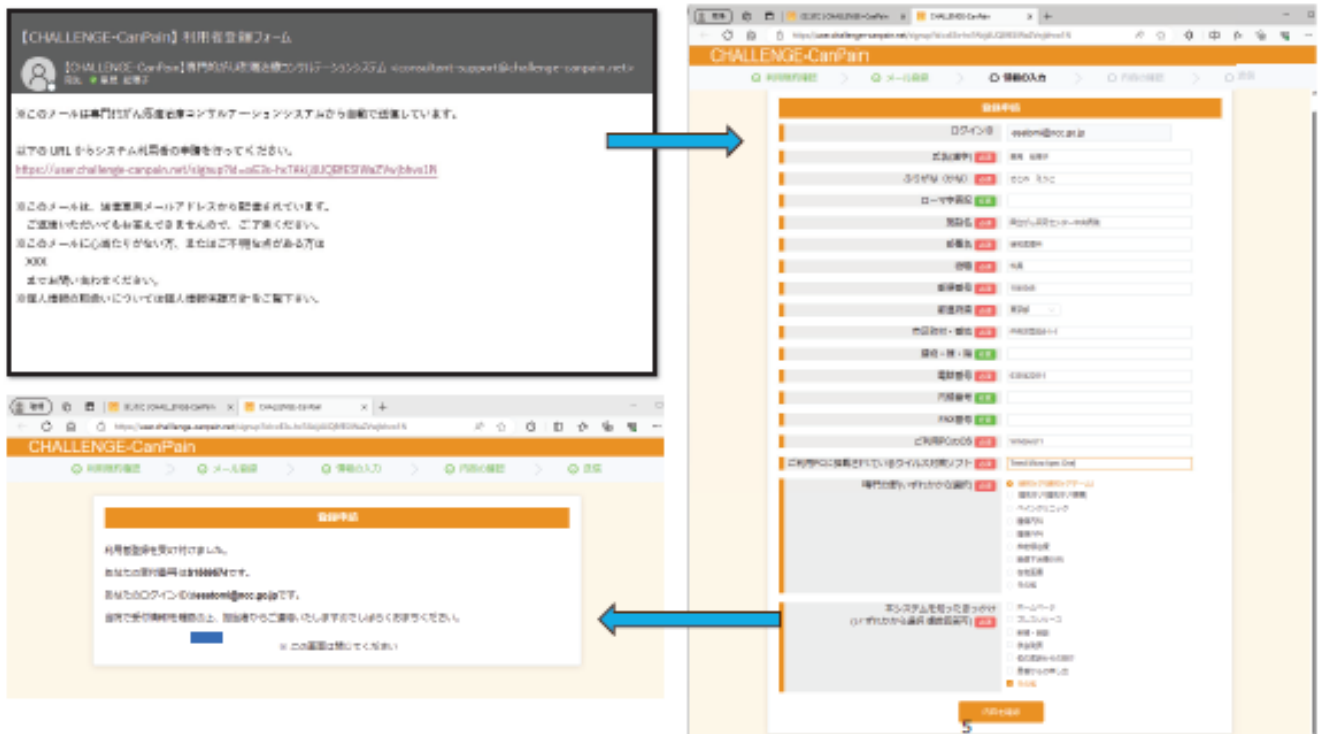
厚生労働科学研究費補助金(2022-2024) がん関連苦痛症状の体系的治療の開発と実践および
専門的がん疼痛治療の地域連携体制モデル構築に関する研究班

Challenge-campaign コンサルタント

所長	梶見 絵理子	国立がん研究センター中央病院	緩和医療科	医師
事務局	荒川 さやか	国立がん研究センター中央病院	緩和医療科	医師
放射線治療	飯橋 謙夫	埼玉医科大学総合医療センター	放射線腫瘍科	医師
	中村 直樹	聖マリアンナ医科大学病院	放射線治療科	医師
	真 寛重	国立病院機構東京医療センター	放射線治療科	医師
	金田 貞幹	国立がん研究センター東病院	放射線治療科	医師
	安田 茂雄	千葉労災病院	放射線科	医師
	藤原 浩樹	前橋赤十字病院	放射線治療科	医師
	三輪 弥沙子	山台厚生病院	放射線科	医師
	大久保 悠	佐久医療センター	放射線治療科	医師
	西村 岳	市立福知山市民病院	放射線科	医師
	渡辺 未歩	千葉大学	画像診断・放射線腫瘍学	医師
IVR	曾根 美雪	国立がん研究センター中央病院	放射線診断科	医師
	三村 秀文	聖マリアンナ医科大学病院	放射線診断・IVR科	医師
	新橋 剛	静岡県立静岡がんセンター	IVR科	医師
	河野 謙一	岩手医科大学	放射線診断科・放射線治療科	医師
	菅井 保典	国立がん研究センター東病院	放射線診断科	医師
	西尾福 英之	奈良県立医科大学	放射線診断・IVR講座	医師
	大島 拓哉	国立がん研究センター中央病院	放射線診断科	医師
神経ブロック&緩和ケア	松本 祐久	公益財団法人がん研究会 有明病院	緩和治療科	医師
	水嶋 寛郎	順天堂大学	緩和医療学研究室	医師
	上原 優子	順天堂大学浦安病院	緩和医療科	医師
	小杉 善文	佐賀県医療センター好生館	緩和ケア科	医師
	三浦 智史	国立がん研究センター東病院	緩和医療科	医師
	樋口 さおり	聖マリアンナ医科大学病院	緩和医療学	医師
	平川 麻美	聖マリアンナ医科大学病院	緩和医療学	医師
	中山 隆弘	坂塚病院	連携医療・緩和ケア科	医師
	山田 博英	聖隷浜松病院	緩和医療科	医師
	山代 亜紀子	済和会青羽病院	緩和ケア内科	医師
	大西 佳子	京都市立病院	緩和ケア科	医師
	下川 美穂	つくばセントラル病院	緩和ケア科	医師

運用概要図（利用者申請／登録）





地域連携基盤：医療者が専門的がん疼痛治療の適応など相談するためのプラットフォーム

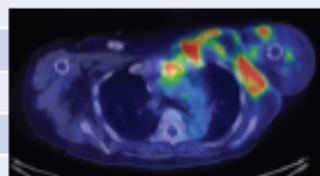


アカウント発行後、**お使いになるPCにおいて** 証明書ボタンを押して、**セキュリティを担保**するために表示される証明書をインストールする必要があります。

厚生労働科学研究費補助金(2022-2024) がん関連苦痛症状の体系的治療の開発と実践および専門的がん疼痛治療の地域連携体制モデル構築に関する研究班

実際に相談のあった症例を基にした一例（一部加工。画像はイメージです。）

診断名	ひだり乳癌皮膚浸潤 ひだり腋窩リンパ節転移
痛みの場所とその原因	ひだり上肢神経障害性疼痛、皮膚浸潤部からの出血
コンサルト目的	緩和的放射線治療の対象となるか
本システムを利用した理由	近くに相談できる医師がない
患者ADL	2
推定予後	月単位
せん妄の有無	無
止血・凝固異常の有無	クロビドグレル内服中
現在使用している鎮痛薬	オキシコドン徐放剤40mg/日、プレガバリン150mg/日
治療に影響を及ぼす既往症・合併症・内服薬の有無	甲状腺機能亢進症、脳梗塞、メルカゾール、クロビドグレル等
その他 相談したいこと （自由記載）	60代女性、総合病院にて診断後、BSCの方針となり、施設入所で在宅医療を行っています。疼痛や出血の軽減のために緩和照射は適応となりうるのでしょうか、御教示頂ければと思います。



コンサルタントの回答

緩和的放射線治療の適応と存じます。

ただ、予後や背景的な厳しさもあるようですので照射回数はかなり限られそうです。それでも疼痛緩和と出血の軽減はある程度図れると思います。リンパ浮腫の軽減は難しいかもしれません。

●●市では以下の2病院が放射線治療を行っておりますので、ご相談してみてもいかがでしょうか

●▲病院、■■病院

因みに、放射線治療のご相談をなさる場合、今回頂いた情報の他に、移動手段や外来で待機可能な全身状態かどうか、数回の外来治療なら通院可能かどうか、もしくは入院希望の有無、レスキュー使用の有無等の情報も合わせてお持ち頂けますとご相談がスムーズかと存じます。

（手前味噌になりますが、放射線治療学会のHP 緩和放射線治療内にチェックリストがありますのでよろしければご参考になさってください；

<https://www.jastro.or.jp/medicalpersonnel/palliative/>【スライド】緩和放射線治療地域連携モデル 内 P.3)

よろしく願いいたします。

- ✓ Web上でSecureな環境でのコンサルテーション
- ✓ 画像添付可能
- ✓ 事務局によるふりわけ→簡単な相談が可能
- ✓ 緩和ケア医、放射線治療医、ペインクリニシャン、IVR医による回答



- *単回放射線治療の相談
- *オピオイドを使ってもがん疼痛が緩和しない
- *メサドン使った経験がないが相談したい
- *ブロックやIVRの適応があるのかわからないなど



Challenge-CanPain



運用中

実施可能性を調査していきます

がん疼痛cancer pain とキャンペーン (運動) campaignをかけて
CanPain という造語になっています。